

# ほっといんぷおめーしょん

## キリンの搬入・搬出

昨年11月に盛岡市動物公園から到着した『リリカ』は、とても落ち着いた個体です。当園に着いた時から、(盛岡を出る時から)輸送箱や室内外への移動が大変スムーズです。それに比べ、東京都多摩動物公園に搬出した『ルル』は、頑として輸送箱に入らず、2日かかりで“やっと”箱に入りました。若い2頭とも、いずれ多くの子供を産んで、そしてできるだけ長生きして欲しいものです。



▲ジュンと同居したリリカ

## ただいま越冬中

ペリカンなどの水鳥がいるフライング・ケージは、毎年越冬のため、鳥を捕獲して越冬小屋に入れていきます。今回の作業は、今までにない大がかりな仕掛けの成果で短時間で終了したのですが、無事ではなかったヒトが一名。水辺でバランスを崩し、ずぶ濡れになった担当者でした!!



▲越冬中の水鳥たち

## ニホンザルの入れ墨

毎年暮れにその年生まれの個体を捕獲し、識別のための入れ墨と性別チェックをしています。入れ墨といっても桜吹雪や昇り竜の類ではありません。顔には位置で数字がわかる黒点、内股には数字を入れて、識別しやすくするものです。



▲入れ墨でマーキング

## イヌワシ搬出

昨年春に生まれた「空」が、12月19日盛岡市動物公園にお嫁に行きました。絶滅が心配なイヌワシの新しい繁殖基地をつくることを目的とした移動です。



▲イヌワシ「空」

## 行事の結果と案内

### 10/4 開園30周年&『王者の森』完成記念式典

晴れ上がった秋空の下、開園30周年と新猛獣舎「王者の森」完成を祝い、合同の記念式典を開催しました。



▲王者の森は大盛況

### 10/4 青空シンポジウム

開園30周年記念式典に合わせて開催した青空シンポジウムには、勝平、日新、浜田の各小学校の児童たちがパネリストとして登場し、「未来の大森山動物園」について熱く語ってくれました。



▲青空シンポジウム

### 11/24 きよなら感謝祭

前日までの荒天が嘘のような好天に恵まれ、開園最終日としては過去最高の5,610人の人出でにぎわいました。



▲早く撮って~/感謝祭 干支の撮影会より

## 行事案内

- 冬の観察会 ..... 2月8日(日)
- 開園 ..... 3月20日(土)

## 目次

表紙「ニホンザル」	1
干支の動物「申」	2
ホットインフォメーション	3
特集 大森山のサル	4~5
飼育レポート・動物病院から	6
飼育日誌・編集後記	7
かたばた通信	8